

第17回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事要旨

日 時 平成27年2月24日（火）13：30～15：00
場 所 高山市役所 3階 行政委員会室
出席委員 18名

《会長あいさつ》

《議 事》

高山駅東西口駅前広場整備について

—高山駅東西口駅前広場整備について設計者より説明—

【会 長】 それではただいまご説明のありました高山駅東西口駅前広場整備について、皆様のご意見を伺いたい。

【委 員】 緑で表示してある箇所は、供用開始の時にどのようなになるのか。

【設計者】 植栽を予定しています。植栽は基本的に地元で自生する樹木を考えています。また、落葉樹なども積極的に取り入れ、四季が感じられるようにしていきたいと考えています。下草はできるだけ笹系統を使いたいと考えています。

【委 員】 歩くところは凍結などが心配であるため、高山の石で整備しなくて良いので、安全性重視で雪対策をしっかり行ってほしい。

【設計者】 キャンオピー（屋根）の下は、雪対策として無散水の融雪を考えています。

【委 員】 水盤の水は地下水を利用しますか。水は濾過で循環させますか。

【設計者】 地下水を利用します。地下水をかけ流しではなく観光案内所の中に濾過機を設けてその水を循環させるように考えています。減った水は地下水で補給することを考えています。

【委 員】 濾過で循環すると藻が生えることが高山では多い。まちの博物館でも循環にしたらすぐ藻が生えてしまい運転を止めてしまったので、その点は注

意してほしい。

【委員】 先程高山らしさと言われたが、いわゆる他の大きな駅と今造られる駅はどう違うのか。どちらかというとな前の高山駅の方が高山らしいと思う。

【設計者】 これだけ地元の材料を使った駅前広場は他にないと思います。私の経験では地元の材料を使うと非常になじみが良いというか、らしさがなんとなく出てくるのを、これまでの経験上で感じています。例えば旧駅舎というような、具体的にこんな形というのは残っていないかもしれませんが、駅前広場で囲ってある中庭、祭りの時の幟、旧高山駅のロゴなど、実に可愛いというか素晴らしいというか、そういうものがありますので、かなり個性的な広場になると私は思っています。

【委員】 駅舎はこちらの管轄ではないからと最初から言われて、それ以外を検討と言われますが、やはりメインは駅舎です。その点についてあまり言えないにしても駅舎を見た時に高山らしいと感じると思うので、この点はなんとかならないのかと思う。

【設計者】 J R 東海の設計担当にも、かなり積極的に協力していただいています。駅舎壁面に対して我々が格子のようなものを表現したらどうかと提案したら受け入れてくれて、それもアルミの鋳物でそれを作りますので、長い目で見たらまちの遺産にするような、夜は内側からほんのり光が出るようなお願いもしています。いわゆる高山の古い町並みを歩いたなごりのような、雰囲気を感じてもらえる場所になると思います。

【委員】 先程タイルの話があり写真も二つありますが、私の記憶では左側は改修したときのもの、右側は昔からあるものだと思う。そんなに分量はなくて良いのですが、このタイルはどこに使う予定ですか。

【設計者】 駐輪場脇の石垣にアクセントとして使えないかと検討しています。

【委員】 このタイルは柔らかくて良いものですので、是非使っていただきたい。

【委員】 地元の材料をこれだけ使った例はないと言われましたが、観光客が思わず高山駅に来たよと写真を撮りたくなるようなセールスポイントはありますか。

【設計者】 広場の真ん中で写真を撮ってもらいたいです。池の真ん中に綺麗な石を使っていますので、そこで写真を撮っていただくのが良いと思います。外部に木を使ったものはなかなかうまく行きません。経年変化で黒くなってしまいます。10年位で作り変えるのであれば木を使いますが、なかなかそういう訳にもいかないと思いますので、外部に木を使わないことを基本的な考え方としています。しかし、高山市は林業の町でもありますので、自由通路は壮観だと思います。これだけ木を使う自由通路はないと思いますので、ここ来ると駅を使われた方が木の匂いがする中を街に出て行く形になりますので、木の印象はかなり強くなると思います。

【委員】 日下部邸の木組みのような、みんなが「オ」と思うような、すごいと思うようなものは出来ないですか。

【設計者】 それはすごいかも知れないですね。後で説明があると思いますが、展示物で山車が出てきますが、その中で高山の木造技術みたいなものが出せればと思っています。

【会長】 次の議事の中で、今の質問にお答えいただけるようなことがありそうなので、次の議題に入りたいと思いますがいかがでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【会長】 では続きまして、自由通路内装の整備（案）について事務局よりご説明をお願いします。

《議 事》

自由通路内装の整備（案）について

—自由通路内装の整備（案）について事務局と設計者より説明—

【会長】 それではただいまご説明のありました自由通路内装の整備（案）について、皆様のご意見を伺いたい。

【委員】 子供の目線の所に展示が何もない。子供達が興味を持って自由通路を通行し、親子連れが自由通路の展示を見に行きたいと思えるような場所であ

ってほしい。屋台の下の部分の展示は見た目にも迫力があって、大人だけでなく子供達も喜ぶと思う。台車の部分は子供の目線にもあって良いと思うが、展示部分は子供の目線と違うため、3個に1個くらいは子供の目線にあったものにしていただきたい。また、カンカコを1つ置いて子供達が触れるなど、体験ができるものがあった方が良いと思う。

【設計者】 自由通路の構造上この位置の展示としていますが、例えば掘り込まないパネルの展示物などを下の方に設置することは検討できると思います。

【委員】 視覚障がい者の方は展示が見えないので、音声によるガイドや展示に触れるところがあると良いと思う。広場と共通の内容になるが、手摺、展示ブロック、案内板についてはこれから検討するのか。

【事務局】 障がい者の方々に対する配慮については、今後考えていきたいと思います。また、そのような意見を聞く機会を明日設けていますので、そこで意見を聞きながらできるだけ反映させていきたいと思います。

【委員】 自由通路の幅員が6mということで、かなり壮大なものになると思う。また、構造体にブレスが入っているようなので、先程の展示物の意見については調整が難しいと思う。

【委員】 観光客が展示を見て高山を期待されると話されたが、観光の方は展示を見ずに街へ出ると思う。観光客は観光が終わられた帰りに見られるのではないかと思う。観光客は実物を見た後の話なので、時間があれば見ていただくものなので、メインはどちらかと言うと地元の方になるのではないか。地元の方は高山祭りを知っているので、最初はじっくり見ていただけたと思うが、数年に1回の頻度ではなく頻繁に展示を変えないと、すぐに飽きられてしまうのではないかと危惧している。

【設計者】 ご指摘のように観光客は2時間くらい列車に揺られて、着いたらすぐに出て行ってしまうと思います。帰りに興味のある方が、祭りのことを思い出したり、祭りのシーズンでない場合は、これを見てまた祭りの時に来ようと思っただけきたらと思います。

【委員】 列車を待つ若い人たちの話を聞いていたら、新しい駅はどんな風になるのだろうと話していた。新しい高山駅に期待しているのが伝わってきた。

高山駅には外国の方を含め多くの方が訪れているため、その人たちに応えられるような整備を期待している。観光客は通路の展示スペースには来られないかもしれないが、通路に長椅子など置いて地元の人が休憩して、ゆっくり見ていただけるようにできれば良いと思う。

【事務局】 自由通路は道路ですので制限もありますが、いただいた意見については検討させていただきたいと思います。

【委員】 今は東口しかないのでイメージは東口がメインになっているが、西口が出来た時にはそれをどのように活用するかによって、西口が新しい魅力となって多くの方に使っていただけるようになると思う。

【会長】 観光バスで来られる団体の観光客を西口の方に降ろしていただいて、これから観光に行ってくださいことはできませんか。

【事務局】 西口の活用については西側に大型ホテルもありますし、需要も十分にあると思いますので、関係する業界の方々と調整を図っていきたいと思います。

【委員】 サイン等は何か国語を表示されるのか。

【事務局】 市では5か国語表示としていますが、サイン板では表示をするのに大きな面積を取ってしまうので、最低英語の表示程度は行いたいと思っています。観光客の皆様はスマートフォン、タブレット等を使っていろいろな情報を見られるので、それも含め5か国語の表示をどのように行うのが良いか悩んでいます。

【設計者】 私どもは東京駅のサイン計画を行っていますが、基本英語表示で必要なところは何か国語かにしようということになっています。基本英語表示までかなという気がします。

【会長】 それでは意見も出尽くしたようですので、自由通路内装の整備（案）について、基本的にご異議なしということによろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【事務局】 いただいた意見の主旨は理解しましたので、詳細設計の中で検討させていただきたいと思います。

【会 長】 意見としては、展示の高さを子供の目線に下げられないかというご意見、地元の方が楽しめるような配慮が必要というご意見がありました。私の意見ですが、完成後の話だと思いますが、市役所のこの場所を管理する部署で市民のご意見を聞くなり、観光客にアンケートを取るなどしていただきたいと思います。

【委 員】 設計を担当された方がみえるので少しお聞きしたいのですが、８０年前に高山駅が開業し、それまでは高山駅の東側のエリアが商業集積地でしたが、それが西側に広がってきました。現在東側のエリアは伝承空間となっています。今度新しい高山駅が開業すると、駅を含めたエリアにおいてどういう街づくりを進めていくべきだと思いますか。

【設計者】 どうやって街を良くしていくかということですが、いろんなやり方があります。例えば、景観法はみんなで話し合ってルールを決められるという法律ですから、これを使って街の中で相談いただいて、ルールにしていくのが一つのやり方かと思います。倉敷の伝建地区や伝建地区周辺は、景観法を使うことで随分変わりました。町並みが少し綺麗になったら人が流れるようになって、昔の薬屋さんを使った建物が非常に良い店舗になって人の流れが変わり、伝建地区へ行ったら必ずそこへ寄って帰って行くようになりました。これは、街の中がどう話し合いを進めるかによって変わるので、次の段階に掛かってくる問題だと思います。

【委 員】 駅が綺麗になっても、駅周辺が綺麗になっていないとどうなのか。例えば駅前の看板ですが、お願いはしているが改善されていない。これらも併せて意見を伺えればと思います。

【設計者】 行政が中心になってやっていく街づくりもありますが、最終的には住民の方たちが合意しないと、無理やり規制を掛けることはできません。特に商業地域についてはそういう色合いが強い。みんなで合意する必要があると思います。

【副会長】 駅の整備に市民が参加できる道の一つ考えるべきではないかと思う。デザインは専門の方が行っているため、市民参加は難しいと思うが、例えば

駅の周辺のマンホールのデザインを市民から募集する。その他、子供達にベンチのデザインに参加してもらうなど、この中に市民参加の道を入れるのはありだと思う。

これは市の商工課が担当かも知れないが、高山駅が平成２８年まで仮駅舎で営業されるということだが、列車を待つ人達が駅から溢れている。チケットを持っている人がメリットを持つような工夫をして対策が取れないかと思う。例えば周辺の商店の人達と連携してチケットを見せると１００円安くなるなど、高山はリピーター率が高いので、高山駅へ行ったら改築中だけどこんなサービスがあったと言ってもらえるようなことを考えるべきだと思う。

【委 員】 先程言い忘れたのですが、広場に落葉樹を設置すると説明されましたが、高山の木であるイチイの木を両方の広場に１本は植えていただきたい。

【会 長】 ありがとうございます。意見としては、ソフト面を含めて検討していただきたいという要望です。それでは事務局にお返しします。

【事務局】 ご協議ありがとうございました。今ほどいただきました意見を踏まえまして、最終案の作成に向けて努力させていただきます。